

就学援助費受給申請書の書き方

第1号様式(第6条第1項) **就学援助費受給申請書**
 (宛先) 八千代市教育委員会 就学援助費を受けたいので、次のとおり申請します。 年 月 日

該当する項目にシ点を付けてください。
 同一の生計を営む世帯員の合計所得額等が認定基準額に満たないと思われるため
 児童扶養手当を受給しているため 生活保護が停止又は廃止となったため その他

① 申請理由

フリガナ氏名 生年月日 個人番号(マイナンバー)/勤務先等
 住所 TEL 市・区・町・村
 1月1日現在の住所 同上・八千代市以外

住居の形態 持ち家 賃貸住宅・社宅 →賃貸借契約書の写しを添付してください。

申請者及び世帯員の中で下記に受け取っている項目がある場合は、シ点を入れて、金額等を記入してください。
 ※印の項目の受給がある場合は、受給額が分かる証書の写しを添付してください。

児童扶養手当※(年 月から月額 円) 児童手当(月額 円)
 遺族年金※(年 月から月額 円) 障害者年金※(年 月から月額 円)
 生命保険金※(年 月から月額 円) 養育費(年 月から月額 円)

対象の児童・生徒 ※市内の市立小中学校の在籍者。1枚の申請書で世帯員全員分を申請できます。

氏名(フリガナ)	学校名・学年	生年月日	個人番号(マイナンバー)
	小中学校 年 H . .		
	小中学校 年 H . .		
	小中学校 年 H . .		
	小中学校 年 H . .		
	小中学校 年 H . .		

③

上記を除く家族の状況

フリガナ氏名	申請者との続柄	生年月日	個人番号(マイナンバー)/勤務先等又は学校名
		S H R . .	
		S H R . .	
		S H R . .	
		S H R . .	

私は、自身の税に関する情報について、この申請に基づく就学援助費の審査に必要な範囲内に限り八千代市教育委員会が情報を利用することについて同意します(自署及び捺印)。

下の2つにチェックがついたか確認し、裏面に記入してください。
 「個人番号(マイナンバー)欄」及び「税関係書類等 調査承諾欄」を記入した。
 ※同席の成人及び収入のある未成年者の全員分が必要です。
 同一生計の家族について税の申告が済んでいる。
 ※申告が済んでいない場合は、認定の可否判断ができません。成人の場合は、昨年の収入が無くてもその旨を市民税課に申告してください。

氏名(申請者) 氏名 氏名 氏名

① 就学援助を受けようとする場合は当てはまる申請理由に☑をつけてください。当てはまる理由がない場合は「その他」に申請理由を記入します。マイナンバーの欄と「1月1日現在の住所」は忘れずに記入してください。1月1日時点で八千代市に住民票があった場合は「同上」に丸をつけ、八千代市以外の場合は市町村名を記入します。

② 住居の形態に☑をつけます。賃貸住宅に住んでいる場合は最新の賃貸契約書のコピー(契約者名・契約期間・家賃)を添付してください。次の受給項目の確認については受け取っているものに☑をして金額を記入してください。次に該当する人は、書類の添付が必要です。
 ◆児童扶養手当の受給者→「児童扶養手当証書」のコピー「有効期限・受給者氏名・手当月額・支給開始年月」が分かる部分を添付。
 ◆遺族・障害者年金等の受給者→受給額が分かる証書のコピー「令和5年中の受給額」が分かる部分を添付。

③ この欄は就学援助を受けることを希望する子を書く欄です。小学1年生～中学3年生の子を年齢が低い順に記入してください。未就学児や高校生以上の子がいる場合は、④の「上記を除く家族の状況」欄に記入してください。

裏面に続きます ↘

上記を除く家族の状況 <small>住民票が別でも同じ住所に居住している方を全員を記入してください。</small>	フリガナ 氏名	申請者との続柄	生年月日	個人番号(マイナンバー) / 勤務先等又は学校名
			S H R	
		④	S H R	
			S H R	
税情報利用の同意	私は、自身の税に関する情報について、この申請に基づく就学援助費の審査に必要な範囲内に限り八千代市教育委員会が情報を利用することについて同意します(自署及び捺印)。			
	氏名(申請者)	⑤	<input type="checkbox"/> 調査承諾欄を記入した。 <small>※同居の成人及び収入のある未成年者の全員分が必要です。</small>	
	氏名	⑤	<input type="checkbox"/> 同一生計の家族について税の申告が済んでいる。 <small>※申告が済んでいない場合は、認定の可否判断ができません。成人の場合は、昨年の収入が無くてもその旨を市民税課に申告してください。</small>	
	氏名	⑤		
	氏名	⑤		

④ ①と③以外の生計を共にしている人全員分を記入してください。祖父母などとの同居は、住民票上は別な場合でも、原則生計を共にしているものとみなします。続柄は、「父・母・夫・妻・子・同居人」など申請者との関係を記入してください。マイナンバーは、収入のない未成年者は記入不要です。成人の場合は、被扶養者や年金受給者などで非課税・無収入の場合でも記入が必要になるのでご注意ください。

申請書裏面も記入箇所があります↘

裏面

申請書表面記入の児童生徒について、認定の際は、下記振込先口座への支給を希望します。また、振込がなされたとき援助費を受領したものと認めます。
 なお、就学援助支給費目において学校への支払に未納がある場合など学校長が保護者への口座振込の方法が不適当と認めた場合は、当該援助費の請求、受領及び返納に関する一切の権限を学校長に委任することを了承します。

振込先口座	金融機関名		預金種別
	銀行・信用金庫		支店 出張所
	農協・信用組合		
口座名義(カタカナで記入)		口座番号	

※ゆうちょ銀行を指定した場合の支店名は漢数字3ケタとなります。また、口座番号は7ケタの数字になりますので、通帳等でご確認ください。

⑤ 「マイナンバー(個人番号)」欄と「税情報利用同意」欄は、申請者を含む世帯内の成人は、収入の有無に関わらず全員の記入が必要です。未成年の場合でもアルバイト等で収入がある場合は、記入してください。例えば、次の人もそれぞれ記入が必要です。

- ◆収入が無いまたは非課税の成人
- ◆年金受給者
- ◆アルバイトをしている未成年者

※記入を拒否する場合は、記入が必要な人全員分の「市県民税課税所得証明書」が必要です。証明書は、令和6年6月半ばに市役所で取得が可能になった後、教育委員会へ提出してください。

⑥ 認定になった際に使用する振込先口座を指定してください。ゆうちょ銀行を指定する場合は、必ず口座番号と支店名を確認してください。口座番号は7ケタになります。通帳内の「番号」の8ケタとは異なりますのでご注意ください。また、支店名は漢数字3ケタになります。地名等の支店名では振込が行えませんのでご注意ください。

×「12345678」 →→ ○「1234567」
 ×「大和田支店」 →→ ○「三五八」